

【第1号議案】

2020年度事業報告

2020年度の諸事業は、3月の理事会で承認された事業計画を順次実施した。

■ 4つの事業関係

1)【芸術活動助成】(公益財団法人 朝日新聞文化財団 定款第4条1の事業)

2020年度の芸術活動助成事業は、2020年2月3日および4日に選考委員会を開き、助成対象を決めた。応募は324件(音楽分野186件、美術分野138件)あり、前年度の371件から47件減少した。助成総額は平年枠の2300万円に加え2020芸術活動特別助成枠1200万円を加えた3500万円とし、音楽分野82件、美術分野63件の合計145件を助成対象とした。ところが、コロナ禍で事業の中止、延期が余儀なくされ、音楽分野では中止6件160万円、再申請16件380万円、延期27件780万円、美術分野では中止2件50万円、延期15件373万円が生じた。結果、80件に1757万円を助成し、1743万円を2020コロナ感染症対策積立金に計上し、2021年度の実業への助成に充てる。助成した事業(助成先・助成対象)は別紙資料①②の通り。

2)【文化財保護助成】(公益財団法人 朝日新聞文化財団 定款第4条2の事業)

2019年9月8日に開かれた選考委員会で、2020年度助成実施対象事業として応募があった57件の中から、京都・清凉寺の重要文化財「釈迦堂縁起」絵巻などの保存・修復など32件に対して総額6588万円の助成を決定したが、別紙③の通り最終的に2件30万円の減額があり、計6558万円を助成した。

3)【朝日賞の贈呈】(公益財団法人 朝日新聞文化財団 定款第4条3の事業)

2020年度の朝日賞は、下記の4氏に贈呈された。

◇細野晴臣(音楽家):ポピュラー音楽に大きな革新をもたらした音楽活動

◇森山大道(写真家):写真の本質を問い続けた60年の実績

◇蔡兆申(東京理科大学教授)・中村泰信(東京大学教授):量子情報技術の発展に資する超伝導量子ビットの創出

◇望月拓郎(京都大学教授):調和バンドルとツイスターD加群の研究

受賞者の業績と横顔は2021年1月1日の朝日新聞に掲載された。

また、贈呈式と祝賀パーティーは、コロナ禍のため中止としたが、5氏に正賞のブロンズ像(彫刻家で1988年度朝日賞受賞者の佐藤忠良氏の作品「陽」と副賞500万円(1件につき)が贈られ、朝日新聞デジタルを通じてオンラインで受賞の喜びが伝えられた。

4)【大阪国際フェスティバル】(公益財団法人朝日新聞文化財団 定款第4条4の事業)

2020年の大阪国際フェスティバルは4月から11月に、大阪・中之島のフェスティバルホールを会場に、計5演目5公演を予定していたが、コロナ禍で2公演を1、3月に延期、1公演を中止とした。

*3月3日振替公演(4月20日予定)

大阪4大オーケストラスペシャル～4オケの4大シンフォニー2020

【第1号議案】

ベートーヴェン生誕250年

交響曲第3番、5番、6番7番

4楽団合同オーケストラ(大阪交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、日本センチュリー交響楽団)

*1月23日振替公演(5月30日予定)

関西フィルハーモニー管弦楽団 (指揮:飯守泰次郎)

ワーグナー:歌劇「タイホイザー」

:歌劇「トリスタンとイゾルデ」

:楽劇「ニーベルングの指輪」

*公演中止(7月31日予定)

ブライト・ステップ×ATP

世界13か国で活躍する日本人若手ダンサー19人によるバレエ・ガラ

*11月6日

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 ワレリー・ゲルギエフ指揮

チャイコフスキー:ロココ風の主題による変奏曲

プロコフィエフ:ピアノ協奏曲第2番ト短調作品16

チャイコフスキー:交響曲第6番ロ短調作品74「悲愴」

■ 管理運営関係等

◇ 諸会議の開催

- ① 第1回理事会(2020年4月1日) ※人事承認・書面
- ② 第1回評議員会(2020年4月13日) ※人事承認・書面
- ③ 第2回理事会(2020年5月29日) ※決算関連・書面
- ④ 第2回定時評議員会(2020年6月8日) ※決算関連・書面
- ⑤ 第3回理事会(2020年6月15日) ※書面
- ⑥ 第4回理事会(2020年7月14日) ※人事承認・書面
- ⑦ 第5回理事会(2021年3月2日) ※予算関連・テレビ会議
- ⑧ 2020年度・文化財保護助成選考委員会
- ⑨ 2020年度・朝日賞選考委員会
- ⑩ 2020年度・芸術活動助成選考委員会

◇ 諸会議の結果

- ① 第1回理事会

*開催方法:書面表決

*理事会の決議があったものとみなされた日:2020年4月1日

【第1号議案】

- * 決議方式: 定款第42条に基づく書面決議で理事全員が賛成、監事2人も同意
- * 決議事項: 「評議員の辞任と推薦」について承認した

② 第1回評議員会

- * 開催方法: 書面表決
- * 理事会の決議があったものとみなされた日: 2020年4月13日
- * 決議方式: 定款第25条に基づく書面決議で評議員全員が賛成
- * 決議事項: 「評議員の辞任と選任」について全員一致で承認した

③ 第2回理事会

- * 開催方法: 書面表決
- * 理事会の決議があったものとみなされた日: 2020年5月29日
- * 決議方式: 定款第42条に基づく書面決議で理事全員が賛成、監事2人も同意
- * 決議事項: 「事業報告、収支決算、特別費用の積立、理事長・常務理事の職務状況報告」について承認した

④ 第2回定時評議員会

- * 開催方法: 書面表決
- * 理事会の決議があったものとみなされた日: 2020年6月8日
- * 決議方式: 定款第25条に基づく書面決議で評議員全員が賛成
- * 決議事項: 「事業報告、収支決算」について全員一致で承認した

⑤ 第3回理事会

- * 開催方法: 書面表決
- * 理事会の決議があったものとみなされた日: 2020年6月15日
- * 決議方式: 定款第42条に基づく書面決議で理事全員が賛成、監事2人も同意
- * 決議事項: 「朝日新聞株主総会にかかるすべての事案への賛成とテレ朝FD株主総会にかかる自己株取得反対とそれ以外の賛成」について承認した

⑥ 第4回理事会

- * 開催方法: 書面表決
- * 理事会の決議があったものとみなされた日: 2020年7月14日
- * 決議方式: 定款第42条に基づく書面決議で理事全員が賛成、監事2人も同意
- * 決議事項: 「朝日賞選考委員の辞任と選任」について承認した

⑦ 第5回理事会

- * 開催方法: テレビ会議
- * 理事会の決議があったものとみなされた日: 2021年3月2日
- * 決議方式: 定款第42条に基づく電磁的な決議で理事全員が賛成、監事2人も同意
- * 決議事項: 「21年度事業計画、収支予算、特別費用積立計画、経理規則の改定と資金運用規定の新設、全選考委員の選任、21年度定時評議員会招集、理事長・常務理事の職務状況報告、21年度第1回理事会の書面決議、第2回理事会の開催」について承認した

【第1号議案】

- ⑧ 2020年度・文化財保護助成選考委員会
*日時:2020年9月8日
*場所:テレビ会議
*出席者:選考委員7名中6人(有賀祥隆、武田佐知子、根立研介、広瀬和雄、本田光子、中村俊介)
*選考結果:2021年度実施の対象事業として応募があった45件の中から継続複数年事業を含め、昨年9月の台風15号によって倒壊した重要文化財・神野寺表門(千葉県君津市)の保存・修復など30件に計5737万円の助成を決定した。
- ⑨ 2020年度・朝日賞選考委員会
*日時:2020年11月30日
*場所:東京都中央区築地の朝日新聞東京本社本館15階
*出席者:選考委員9名(青柳正規、伊東豊雄、梶田隆章、榊裕之、田中啓二、野田秀樹、上野千鶴子、渡辺雅隆、中村史郎)
- ⑩ 2020年度・芸術活動助成選考委員会
A) 音楽分野
*日時:2020年2月12日
*方法:テレビ会議
*出席者:沼尻竜典、白石美雪、丸山玄則(以下、書面出席)、
酒井忠康、建畠哲、大西若人、以上6名(選考委員総数6名)
*選考結果:2021年度実施の対象事業として応募があった142件の中から、「NISSAY OPERA 2021」(ニッセイ文化振興財団)など103件に総額2250万円の助成を決めた。うち3件は「2021芸術活動特別助成対象事業」として申請額全額の助成するものである。
- B) 美術分野
*日時:2020年2月17日
*場所:東京都千代田区丸の内朝日新聞文化財団事務所
*出席者:酒井忠康、建畠哲、大西若人、(以下、書面出席)、
沼尻竜典、白石美雪、丸山玄則、以上6名(選考委員総数6名)
*選考結果:2021年度実施の対象事業として応募124件の中から、飛生芸術祭2021(飛生アートコミュニティー)など70件に総額1273万円の助成を決めた。うち2件は「2021芸術活動特別助成対象事業」として申請額全額の助成するものである。

以上